

平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社ナルミヤ・インターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 9275 URL http://www.narumiya-net.co.jp/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 石井 稔晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 管理本 (氏名) 上田 千秋 TEL 03-6430-3405
 部長兼物流管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	20,405	—	937	—	832	—	1,328	—
30年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	136.80	134.61
30年2月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は平成30年2月期第3四半期の四半期財務諸表を作成していないため、平成30年2月期第3四半期累計期間の数値及び平成31年2月期第3四半期累計期間の前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は平成30年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当社株式は平成30年9月6日に東京証券取引所市場第二部に上場しており、新規上場日から当第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
31年2月期第3四半期	14,802		3,085		20.8	
30年2月期	2,162		2,162		99.9	

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 3,084百万円 30年2月期 2,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	4,993.00	—	1,269.00	6,262.00
31年2月期	—	1,465.00	—		
31年2月期(予想)				30.85	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の中間配当は、平成30年6月8日決議、同月29日効力発生であります。効力発生日と同日開催の臨時株主総会での定款変更を条件としているため、平成30年6月29日の臨時株主総会開催前の取締役会での決議による1株当たり配当金は、30分割前の金額を記載しております。
3. 平成31年2月期の期末配当は、特別利益875百万円を控除した後の当期純利益にかかる配当性向30%、1株当たり30円85銭を予定しております。

3. 平成31年2月期の業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,802	—	1,767	—	1,635	176.3	1,879	215.8	192.55

- （注） 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。平成31年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	9,906,830株	30年2月期	9,453,030株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	—株	30年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	9,712,675株	30年2月期3Q	9,453,030株

- （注） 1. 当社は、平成30年6月29日付けで普通株式1株につき30株の割合で、株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。
 2. 当社は平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併し、発行済株式数は171,300株増加しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併したことにより、連結子会社が存続しなくなったため、当事業年度より連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、米国の政策動向、中国経済の持続的成長への懸念など、先行きに不透明感はあるものの、企業利益の拡大や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。

また、当社の主力チャネルである百貨店におきましては、第2四半期会計期間の大雨・台風などの天候不順と全国的な猛暑及び当第3四半期会計期間における高温化等により、特に子供服・洋品部門において売上は前年比減収となりました。

このような経営環境の中、当社は第2四半期及び第3四半期中盤において、前述の気候要因等による苦戦をしいられましたが、当第3四半期累計期間を通して、ショッピングセンターやeコマースの売上高は対前年比2桁増で推移し、当社業績を牽引いたしました。当第3四半期累計期間における百貨店及びショッピングセンター直営店舗の出店状況は、百貨店ではトドラーブランド「X-girl STAGES」（エックスガールステージス）などを中心に19店舗出店（24店舗退店）、ショッピングセンターではトドラーブランド「petit main」（プティメイン）及びジュニアブランド「Lovetoxic」（ラブトキシック）で23店舗出店（3店舗退店）となりました。

既存店舗では、百貨店で展開しているトドラーブランド「ANNA SUI mini」（アナスイ・ミニ）、「X-girl STAGES」及びショッピングセンターで展開している「petit main」、「Lovetoxic」がともに堅調な売上で推移しております。

また、eコマースは平成30年8月に自社オンラインサイトを全面リニューアルしたことで、順調な売上進捗となりました。

この結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高20,405百万円、営業利益937百万円、経常利益832百万円、四半期純利益1,328百万円となりました。

なお、当社は平成30年3月1日付で連結子会社である実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併いたしました。これに伴い、抱合せ株式消滅差益875百万円を特別利益に計上しております。

また、当社はベビー・子供服の企画販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績に関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は14,802百万円となり、前事業年度末に比べて1,237百万円の増加（合併による増加11,403百万円の影響を除く）となりました。これは主に、現金及び預金が1,251百万円、未収還付法人税等が402百万円減少したものの、商品が1,775百万円、売掛金が752百万円、リース資産（純額）が123百万円、差入保証金が114百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は11,717百万円となり、前事業年度末に比べて1,237百万円の増加（合併による増加10,479百万円の影響を除く）となりました。これは主に、未払金が95百万円、未払法人税等が241百万円、長期借入金が225百万円減少したものの、買掛金が777百万円、短期借入金が500百万円、賞与引当金が157百万円、リース債務が253百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,085百万円となり、前事業年度末に比べて0百万円の減少（合併による増加923百万円の影響を除く）となりました。これは主に、新株の発行により資本金の額が208百万円、資本準備金の額が208百万円増加したものの、四半期純利益の計上452百万円（合併に伴う抱合せ株式消滅差益875百万円の計上を除く）並びに剰余金の配当869百万円により、利益剰余金の額が417百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、平成30年9月6日の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,241	732,856
受取手形及び売掛金	-	2,880,269
商品	-	4,771,390
前払費用	-	71,778
未収還付法人税等	402,803	-
繰延税金資産	4,294	270,000
その他	-	103,534
貸倒引当金	-	△5,750
流動資産合計	421,338	8,824,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	-	1,189,732
減価償却累計額	-	△1,012,008
建物及び構築物(純額)	-	177,723
工具、器具及び備品	-	64,525
減価償却累計額	-	△55,881
工具、器具及び備品(純額)	-	8,644
土地	-	5,940
リース資産	-	1,987,692
減価償却累計額	-	△1,028,913
リース資産(純額)	-	958,779
有形固定資産合計	-	1,151,086
無形固定資産		
のれん	-	3,173,702
ソフトウェア	-	40,331
リース資産	-	121,495
その他	-	10,786
無形固定資産合計	-	3,346,316
投資その他の資産		
投資有価証券	-	32,887
関係会社株式	1,740,914	12,489
長期前払費用	-	24,579
差入保証金	-	1,069,724
破産更生債権等	-	49,682
繰延税金資産	-	112,683
その他	-	221,418
貸倒引当金	-	△42,267
投資その他の資産合計	1,740,914	1,481,197
固定資産合計	1,740,914	5,978,600
資産合計	2,162,253	14,802,679

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	3,337,149
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	-	450,000
リース債務	-	378,020
未払金	-	332,210
未払費用	-	596,648
未払法人税等	-	129,051
賞与引当金	-	247,397
返品調整引当金	-	13,711
ポイント引当金	-	31,510
その他	-	104,836
流動負債合計	-	6,120,535
固定負債		
長期借入金	-	4,550,000
リース債務	-	809,186
退職給付引当金	-	237,227
その他	-	75
固定負債合計	-	5,596,488
負債合計	-	11,717,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	218,307
資本剰余金	1,567,710	1,823,982
利益剰余金	583,103	1,041,933
株主資本合計	2,160,813	3,084,223
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	-	△8
評価・換算差額等合計	-	△8
新株予約権	1,440	1,440
純資産合計	2,162,253	3,085,655
負債純資産合計	2,162,253	14,802,679

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	20,405,403
売上原価	9,075,945
売上総利益	11,329,457
販売費及び一般管理費	10,391,655
営業利益	937,802
営業外収益	
受取利息及び配当金	76
保険解約返戻金	5,405
仕入割引	1,972
雑収入	4,920
営業外収益合計	12,375
営業外費用	
支払利息	54,431
合併関連費用	15,954
上場関連費用	40,019
雑損失	7,546
営業外費用合計	117,952
経常利益	832,225
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	875,840
特別利益合計	875,840
特別損失	
固定資産除却損	13,853
減損損失	21,519
解約違約金	550
特別損失合計	35,922
税引前四半期純利益	1,672,142
法人税、住民税及び事業税	332,166
法人税等調整額	11,294
法人税等合計	343,460
四半期純利益	1,328,681

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月1日付で連結子会社でありました実質的存続会社の株式会社ナルミヤ・インターナショナルを吸収合併し、同社の普通株式1株につき、当社の普通株式1株を割当て交付いたしました。当該合併により、資本剰余金が47,964千円増加しております。

また、当社は、平成30年9月6日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。上場にあたり平成30年9月5日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株の発行282,500株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ208,307千円増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間末において、資本金が218,307千円、資本剰余金が1,823,982千円となっております。